

平成29年度指定管理者制度活用事業 評価シート(こども文化センター)

1. 基本事項

施設名称	川崎区第3グループ(田島・浅田・小田)	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H28		H29		H28		H29	
	1 田島こども文化センター ①年間延べ利用者数	27,190人	24,388人	②年間延べ利用団体数	275団体	284団体		
2 渡田小学校わくわくプラザ ①登録者数	310人	335人	②年間延べ利用者数	17,163人	21,884人			
1 浅田こども文化センター ①年間延べ利用者数	29,359人	26,733人	②年間延べ利用団体数	527団体	457団体			
2 浅田小学校わくわくプラザ ①登録者数	123人	121人	②年間延べ利用者数	9,177人	9,567人			
3 小田小学校わくわくプラザ ①登録者数	204人	230人	②年間延べ利用者数	13,981人	14,788人			
1 小田こども文化センター ①年間延べ利用者数	16,331人	16,540人	②年間延べ利用団体数	129団体	176団体			
2 新町小学校わくわくプラザ ①登録者数	146人	156人	②年間延べ利用者数	8,562人	9,675人			
3 東小田小学校わくわくプラザ ①登録者数	117人	123人	②年間延べ利用者数	9,813人	8,538人			
収支実績	1 収入 指定管理料 147,775,766 2 支出 人件費 120,191,395 管理費 10,317,889 事務経費 7,299,913 その他経費 8,045,256 合計 145,854,453 3 差引 1,921,313 単位:円							
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	3	6
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
(評価の理由) ・こども文化センター、わくわくプラザともに仕様書及び事業計画書に沿って事業を適正に実施した。 ・小田こども文化センターにおいて、運営協議会や小田老人いこいの家と連携し、「小田こども文化センターまつりこどもえんにち」を実施した。利用団体や田島中学校の美術部、小学生のボランティア協力により、マジックショーや7種類の模擬店を運営し、200名の参加があり、地域交流や多世代交流が図られた。 ・浅田小学校わくわくプラザでは、子ども運営会議で全学年交流を目的として、全学年が参加できる行事を企画した。「新1年生を迎える会」や「卓球大会」等を実施し、子どもたちが中心となり、当日の運営を行い、積極的な異学年交流がなされている。 ・小田こども文化センターでは、オセロ連盟から講師を招いて「オセロ大会」「オセロ教室」を実施し、対戦マナーや戦略等を教えており、幼児から中学生まで幅広い参加があり、異年齢交流が図られている。					
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	3	6
		利用者ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3	
(評価の理由) ・利用者ニーズについて、館に設置した意見箱の活用により、意見を集め、運営改善に努める他、子ども運営会議や、アンケート等により、利用者の意見を吸い上げるための仕組みが整っている。 ・特別な配慮を要する利用者への対応について、毎月、統括部門と巡回相談員による会議を開催し、巡回報告を基に特別支援児童に適切な対応等を話し合うほか、浅田こども文化センター管轄わくわくプラザでは、特別な配慮を要する利用者への対応研修として、「児童対応について」を実施し、研修内容を参考に、自閉傾向のある児童に対して、行動内容を入り目のカードで視覚的に示すなど、対応に生かしているとともに、学校や保護者と情報交換を密に取り、利用児童個々の発達過程・障がい状況を把握し、適切に対応した。 ・学校及び行政機関との連携について、田島こども文化センターでは、田島子ども子育てプロジェクトに参加し、行政や地域団体等と定期的な会議が開催されており、地域における子育て世代の支援等の地域課題が共有され、「たじまこどもフェスタ(たこフェス)」を実施するにあたり、これまでの運営協議会に加え、新たに田島支所、かわさき障害者福祉施設たじま、地域教育会議と連携し、乳幼児親子から高齢者まで昨年度を上回る参加があり、地域を巻き込む取組につながる事業となった。 ・施設・事業の広報について、ホームページやおたより等多様な媒体を用いて、積極的な広報を行っているとともに、田島こども文化センターでは、乳幼児親子向けに特化した「ひよこたじまより」を10回発行しているほか、行事について特別号として効果的な広報で利用者促進に努めた。また、臨港中学校区地域教育会議の広報誌「地域のわ」作成に広報委員として参加し、こども文化センターの活動を積極的に地域に発信している。					

組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置がされている。 職員の研修体制については、運営法人の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、または、職位ごと、分野ごとの研修が行われていた。また、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有しているとともに、研修資料を一元化し、職員が閲覧出来るようになり、共有化の仕組み作りが出来ている。特に、困難な課題を抱えた中高生世代が多く来館する地域特性を踏まえ、臨港警察署及び川崎警察署のスクールサポーターを講師に招いて、中高生対応研修を実施し、川崎区の中高生の様子や犯罪との関わりについて学んだ。 個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はなかった。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	4	4
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	4	4
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	3	3	
	災害発生時に備えた対応が図られているか。				
	災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。				
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を定期的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。特に田島こども文化センターでは、集会室に換気扇が付いていなかったため設置する等、必要に応じた維持・補修が行われていることで、市民サービス向上に繋がっている。 利用者の安全確保については、財団作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行うとともに、実際の事故やヒヤリハット事例をもとに法人本部で「事例検討シート」を年2回作成し、館長会議、各館での職員会議、スタッフ会議と三階層において議論を重ね、そこで得られた対応策を集約して共有するなど、職員等の資質向上を図っている。また、グループ研修として保健福祉センターにおいて、感染症研修を受講し、職員のスキルアップにつなげており、利用者の安全を確保するための研修を実施するなど職員の意識づけが図られている。 防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。また、学校警察連絡協議会で地域防犯についての情報交換を行い、館長会議や館内会議などで共有している。 					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
<ul style="list-style-type: none"> 金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 委託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。 					

4. 総合評価

評価点合計	68	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

こども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に長年に渡り携わってきた経験を活かし、安定した施設運営を実施している、市内20グループの指定管理を行うスケールメリットを活かし、全グループ合同行事、区合同行事等に加え、各館独自の事業、新規事業にも取り組んでいる。

ちいキッズ役立ち隊やボランティアクラブでの活動のほか、新たに障害者福祉施設、地域教育会議と連携して、事業を行う等、地域に根差した事業を行っている。

また、各種研修に参加し、職員の資質向上に努め、良質なサービスを提供している。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子ども顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。